



公立西知多総合病院
Nishichita General Hospital

2022

4月号

Vol.26

病院だより

ご自由にお持ちください
Take free



病院長あいさつ

｜ 院長 吉原 基 ｜ P1

がん化学療法の状況

｜ がん化学療法看護認定看護師 岡村 健子 ｜ P2

高齢者の消化器外科手術について

｜ 外科部長 平田 明裕 ｜ P3～4

毎日自宅で健康体操

｜ 診療技術局リハビリテーション科 ｜ P5～6





新型コロナウイルス感染症はオミクロン株の流行により、この原稿を書いている時点(令和4年2月下旬)では、新規感染者数こそピークを越えたようですが、入院患者数はむしろ増え続けており、まだまだ先が見えない状況です。コロナとの戦いも2年以上が経ち、皆様も“うんざり”という感じではないでしょうか。

しかし、海外では制限を緩めていく動きもみられていますし、この「病院だより」がみなさまのもとに届くころには、少し落ち着きを見せているかもしれません。いずれにしろ、必ず終わりが来ますので、希望を持って頑張っていきましょう。

当院でも、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限にするよう努力をしていますが、感染の蔓延により、診療を制限せざるをえないことも度々ありました。患者さんや地域住民の皆様にご迷惑をおかけしたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

そんな中、うれしいお知らせもあります。当院が開院して約7年経ちましたが、開院以来の懸案であった分娩の取り扱いが、令和4年度に開始できる予定です。令和4年4月から、名古屋大学の産婦人科の協力のもと、産婦人科医の増員を図ることが出来ました。現在、鋭意準備を進めておりますので、詳しいことが決まりましたら、改めてお知らせします。

また、力を入れているがん治療の実績(手術・化学療法・放射線治療件数)も順調に増えていきます。遺伝子検査への取り組みなどにも着手し、更なるがん診療の充実を図っております。

これからも、「患者さんのため」には何をすればいいのかを第一に考え、地域の皆様のご期待に応えられるよう努力していく所存です。

今後とも何卒、ご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。



がん化学療法の状況

がん化学療法看護認定看護師 岡村 健子

私たちの役割



現在、日本人の2人に1人は何らかのがんにかかると言われ、がんは身近な病気になりつつあります。その治療のひとつに、化学療法、いわゆる「抗がん剤」を使用する治療があります。「抗がん剤」は約80年の過程の中で、薬の種類や治療内容も多岐に進歩し、副作用も複雑になっています。

そのため、私たちががん化学療法看護認定看護師は、治療内容の決定や抗がん剤の副作用管理など様々な場面で、患者様・ご家族様に安全・確実・安楽な看護が提供出来る様、医師・がん化学療法専任薬剤師と協働し、外来化学療法室を中心に外来や病棟スタッフ等と連携を図っています。

がん化学療法の現在



これまでは、肺がん、大腸がん、乳がんと言ったがんの種類別に治療や薬が選ばれていましたが、現在はがんの種類だけでなく、遺伝子変異などのがんの特徴に合わせた治療が出来る様になってきました。

また、2019年より、遺伝子情報に基づく個別化治療(がんゲノム医療)が始まり、多数の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」は、その一部が保険診療として、標準治療がない、または終了したなどの条件を満たす場合に実施可能になってきました。

当院でも個別化治療を含め、地域の皆様に最良の医療を提供出来るよう日進月歩しています。

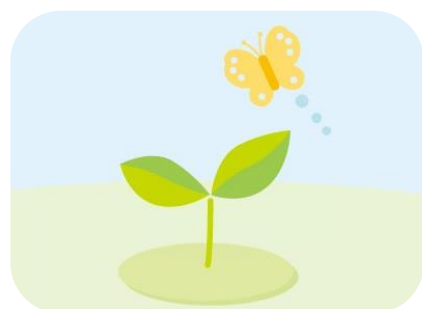
(参考 | 国立がん研究センターがん情報サービス)

私たちに出来る事



令和3年度よりがん化学療法看護認定看護師は3名となり、より質の高い看護が提供出来るよう精進しています。個別化治療を含め、治療内容が難しく選択に迷うときや、がん化学療法の副作用のことでお悩みの際は、毎月第1金曜日に患者サロニールームで看護相談を行っております。

また、来院が難しい場合は、病院ホームページの相談窓口のご案内>スペシャリスト相談室からメールでのご相談も受け付けておりますので、是非お気軽にご利用ください。



高齢者の消化器外科手術について

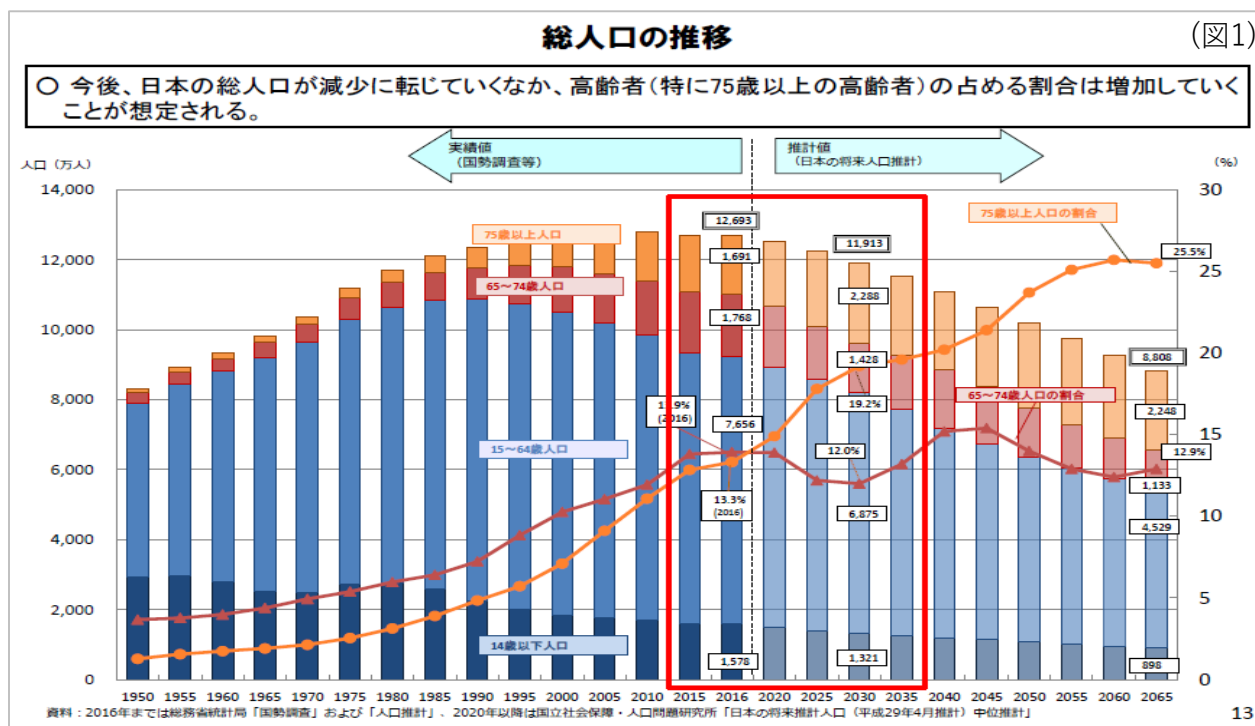
外科部長 平田 明裕

人口の推移

我が国では、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。いわゆる団塊の世代が2025年以降に75歳以上となりその人口割合は増加し続けると予想されます。

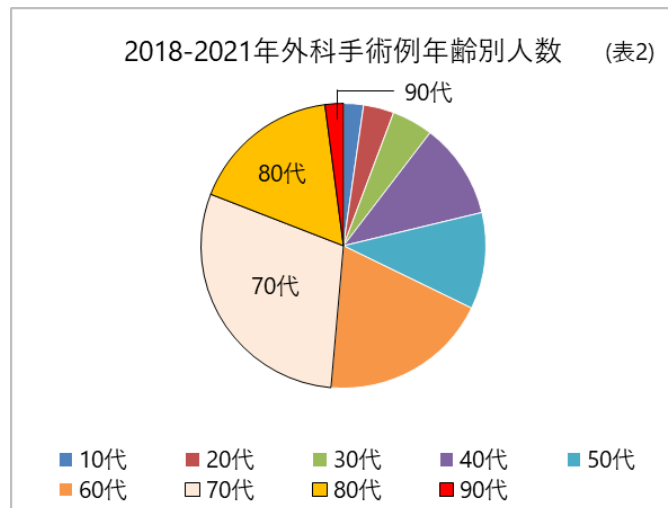
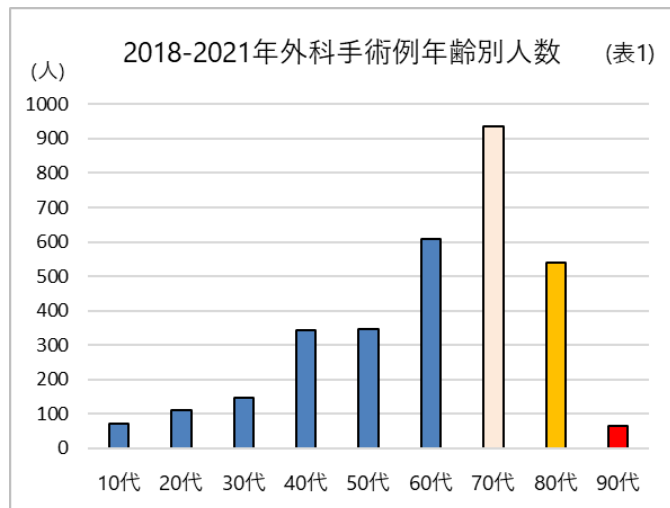
75歳以上の割合は全国的には2025年から15%を超えます。[図1]

(出典 | 第75回社会保障審議会介護保険部会資料)



東海市、知多市の予想では20%前後の予想です。(※2025年の予想で人口が東海市11万人、知多市8万5千人、75歳以上がそれぞれ2万5千人、1万3千人で計算)

2018年～2021年の間に当科で行った手術の年齢別人数では70代が多く90代も66人いました。[表1] 70～90代の割合は半数近くを占めました。[表2]



外科での取り組み

外科では高齢者に適した外科治療、癌治療の開発に取り組んでいます。低侵襲手術として積極的に腹腔鏡手術を取り入れています。個人的な感想ですが、以前ではとても勧められなかったような高齢の方も手術をして元気に帰るようになりました。回復のスピードもかなり速くなっています。

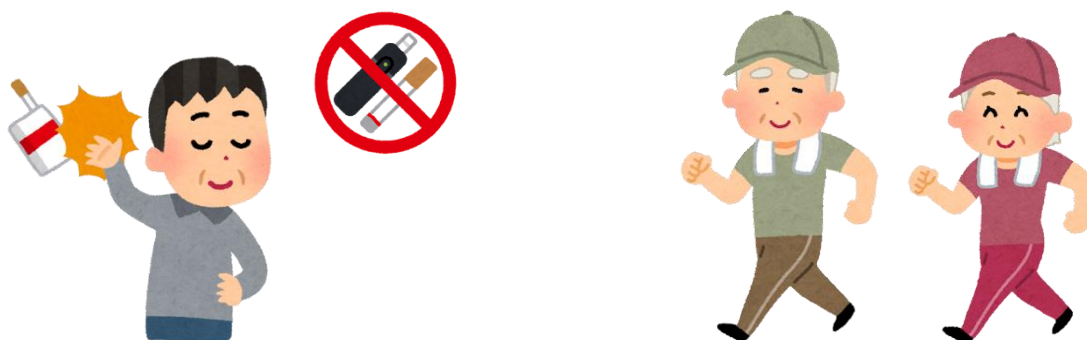
そうは言っても、癌の多臓器への浸潤が強ければ腹腔鏡では手術できません。腹腔鏡か開腹かの判断はカンファレンスで毎回、手術の安全性と根治性のバランスを考えて決断しています。抗がん剤や放射線治療が発達し、副作用のコントロールも改善してきていますが、まだまだ癌の治療において手術が中心的な役割を果たしています。

そんなわけで、外科医の立場からみた健康な時間を長くするコツは、①できるだけ癌を早期に見つけ、②手術をしても大丈夫なように嚥下能力・歩行能力・生活能力を維持向上に努め、③家族や地域のサポートを得ること、この3つが重要です。外科では嚥下機能や筋力が少し弱っていても安心して標準治療が受けられるよう、嚥下訓練や早期リハビリ介入により筋力維持をはかっています。



最後に

私個人の意見ですが、今まで病気がなく健康に過ごしてきた人も、癌などが見つかったり、体力が低下してくるのは75歳前後です。現時点で元気な方は、タバコをやめたりウォーキングを始めたり、一緒に頑張りましょう。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響や寒い季節により、外出する機会(散歩・買い物・外食・イベントなどへの参加)が減少しています。外出する機会の減少は運動不足となり、関節が硬くなりやすいため、筋力低下の原因となります。

なかでも膝関節の動きは日常動作に大きく関わっており、特に高齢者は膝関節の動きや筋力が不十分だと起居動作、歩行動作が不安定となり、転倒のリスクが高くなります。転倒により骨折などが生じると、寝たきりから認知機能低下といった負の連鎖が生じやすくなります。

このような負の連鎖に陥らないよう、積極的に体を動かし、健康的な体を維持していくために、自宅で出来る手軽な下肢の運動をいくつか紹介します。

自宅で出来る運動例

➤ 膝関節の動きを大きくしましょう

1 膝の曲がりを良くしましょう



かかとをつけたまま膝を曲げ、
しっかり曲がったところで保持します。

(時間5秒)

2 太ももの裏側の筋肉を伸ばしましょう



背筋をまっすぐに伸ばしたまま、
上体を前に倒して姿勢を保持します。

(時間30秒)

3 ふくらはぎの筋肉を伸ばしましょう



前に出ている膝を曲げることで、
後ろ側のふくらはぎを伸ばします。

(時間30秒)

➤ 膝関節を支える筋肉を鍛えましょう

各3秒ずつ、1セット15～20回で、2～3セット行いましょう。

1 太ももの前の筋肉を鍛えます

※反対側の膝は立てる



クッションをつぶすように押しつけ、戻します。

2 太ももの外側の筋肉を鍛えます

※下の足は少し曲げてバランスをとる



横向きに寝て、上の脚を真上に上げ、戻します。

3 太ももの裏の筋肉を鍛えます

※膝は90度程度に曲げて立てる



仰向けで膝・お尻・胸が一直線になるように持ち上げ、戻します。

4 脚全体の筋肉を鍛えます

※両手をテーブルに置き、体を支える

※背中が丸くしないように気をつける



足を肩幅に広げ、つま先は少し外側に向け、お尻を下ろし、戻します。

痛みや疲労を感じた場合はすぐに中止してください。毎日、無理のない範囲で続けていきましょう。



シャトルバスのご案内

当院では、付近の主な駅と病院を直通で結ぶシャトルバスを運行しております。



乗車料金

無料 ※ご利用は病院利用者に限ります。

運行日

平日のみ運行

※土・日・祝日・年末年始は運休いたします。

運行ダイヤ



時刻	公立西知多総合病院行			公立西知多総合病院発			時刻	太田川 駅発	公立西知多 総合病院発	時刻	南加木屋 駅発	公立西知多 総合病院発
	朝倉駅発	新舞子駅発 (朝倉駅経由)		朝倉駅行	新舞子駅行 (朝倉駅経由)							
7時	25 40	25			45	7時	50			7時		
8時	10 25 55	10 55	00 45		30	8時	50	35		8時	15	10
9時	10 40 55	40	30 15			9時	50	35		9時	15	10
10時	25 40	25	15 00 45			10時	50	35		10時	15	10
11時	10 25 55	10 50	00 45 25			11時	50	35		11時	15	10
12時	05 40 55	40	30 15 55			12時	50	35		12時	15	10
13時	35	20	55			13時				13時		
14時	05 20		10 50			14時	50	35		14時	15	10
15時	30 55	15 55	45 30			15時	50	35		15時	15	10
16時	10 40	※40	30 15			16時	50	35		16時	15	10

(注意) 下線がある便は新舞子駅からの便です。※印の16：40発は朝倉駅を経由しません。

基本理念

私たちは、知多半島医療圏の北西部地域における中核病院としての使命を果たすため、次のとおり基本理念を定めます。

- 1 地域の皆さんとともに育む、心のこもったあたたかい病院を目指します。
- 2 質の高い医療を提供する、信頼される病院を目指します。
- 3 地域医療の担い手として、安心して暮らせるまちづくりに貢献します

基本方針

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。